

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立母衣小学校）

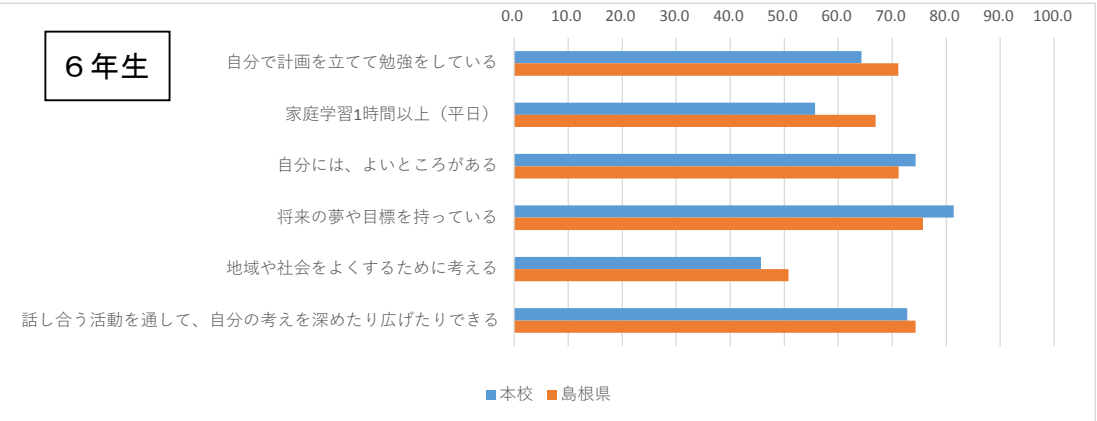
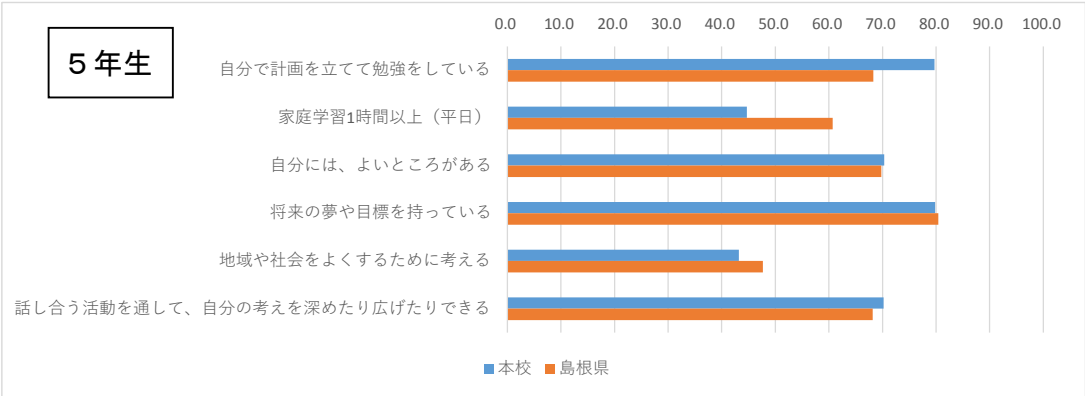
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年 国 語	○「読むこと」に関する正答率が高い。物語の内容や質問内容が理解できている児童が多い。 ○放送による問題では、目的に応じて内容を捉えて考えを広げられる児童が多い。 ●「書くこと」の領域に、苦しさがある。漢字を正しく書いたり、自分の考えを文章で書き表すことは、特に苦手である。	6 年 国 語	○教科全体の平均正答率が高い。特に「読むこと」では、物語も説明文も、内容を正確に読み取り、解答することができる。 ●「書くこと」の設問では、自分の考えを書くことはできるが、記述の条件が「2段落で」「予想される反論と自分の考えを」のように増えると、答えられなくなる児童が増える。
5 年 算 数	○「図形」領域の正答率が高い。三角形や四角形の性質を用いて正しく解答できる児童が多い。 ○基礎的・基本的な計算は、定着している。 ●小数のかけ算、割り算は特に正答率が低い。どこに小数点を打つべきか、正確に理解できていない児童がいる。 ●正答率の高い児童と、低い児童の差がみられる。	6 年 算 数	○教科全体の平均正答率が高い。多くの児童が、基礎的・基本的な内容をきちんと理解できており、それを活用して、応用問題に取り組むことができる。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年	○「早寝・早起き・朝ごはん」といった、基本的な生活習慣が身につけている児童が多い。 ○できるだけ自分の力を伸ばしたいと考えている児童が多く、学習についても前向きな回答をしている。 ●学力調査の正答率が低い児童には、「認められている」「自分によいところがある」の数値が低い傾向がある。	6 年	○「早寝・早起き・朝ごはん」といった、基本的な生活習慣が身につけている児童が多い。 ○できるだけ自分の力を伸ばしたいと考えている児童が多く、学習についても前向きな回答をしている。 ●学力調査の正答率が低い児童には、「認められている」「自分によいところがある」の数値が低い傾向がある。
--------	---	--------	---

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 5年生 74名 6年生 70名 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。